



今日のトピック 自動車業界の2024年度4-9月期決算  
販売台数はマイナスだが、円安の恩恵を受ける

販売奨励金、認証不正問題に関する費用など一時的な費用負担が発生

- 自動車大手の2024年度上半期の決算では、各社販売台数は減少しましたが、円安の恩恵が大きく増収を確保しました。競争力があるモデルを持つ会社は、販売奨励金や研究開発費の増加、品質保証費用、認証不正問題に関する一時的な費用の発生等にも関わらず、高水準の営業利益を確保しました。日産は、旧モデル処分のための販売奨励金が多額となり、営業利益が大きく減少しました。
- エンジンとモーターの両方を駆動力として使う平行式のハイブリッド車は販売台数が伸び、収益性も高いため、トヨタ自動車、ホンダの営業利益を下支えしました。ただし、営業外損益において、7月から9月末にかけて円高となったために発生した為替差損や中国事業の悪化で持ち分法損益が悪化し、各社の純利益は大きく減少しました。このような状況下でも、各社は自社株買いなど株主還元には意欲的な姿勢を示しています。
- トヨタグループ各社の2024年度上期決算は、世界の自動車販売台数が減少した影響を受けました。グループ各社はトヨタ自動車以外への売上高の構成が大きく、販売台数を大きく減らした欧米やアジアメーカー向けの収益が減少しました。しかし、ハイブリッド車向けの利益率の高い部品や材料に強みを持つデンソー、アイシンなど下表4社については、通期で営業利益増益を達成できる見込みです。

【自動車大手3社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		純利益 (億円)	
	24年9月期	25年3月期見通し	24年9月期	25年3月期見通し	24年9月期	25年3月期見通し
トヨタ自動車	232,825 (+5.9)	460,000 (+2.0)	24,642 (▲3.7)	43,000 (▲19.7)	19,071 (▲26.4)	35,700 (▲27.8)
ホンダ	107,976 (+12.4)	210,000 (+2.8)	7,426 (+6.6)	14,200 (+2.8)	4,947 (▲19.7)	9,500 (▲14.2)
日産自動車	59,842 (▲1.3)	127,000 (+0.1)	329 (▲90.2)	1,500 (▲73.6)	192 (▲93.5)	*

【トヨタグループ各社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		純利益 (億円)	
	24年9月期	25年3月期見通し	24年9月期	25年3月期見通し	24年9月期	25年3月期見通し
デンソー	34,749 (▲1.1)	70,200 (▲1.7)	2,512 (+18.6)	5,500 (+44.5)	1,908 (+13.0)	4,370 (+39.7)
アイシン	23,525 (▲4.2)	48,000 (▲2.2)	562 (▲38.1)	2,000 (+39.5)	81 (▲88.4)	1,000 (+10.1)
豊田自動織機	20,155 (+9.7)	39,000 (+1.7)	1,263 (+3.5)	2,200 (+9.8)	1,474 (+6.2)	2,450 (+7.1)
豊田通商	50,659 (▲1.3)	*	2,479 (+6.3)	5,000 (+13.2)	1,815 (+2.1)	3,500 (+5.6)
ジェイテクト	9,185 (▲0.4)	18,300 (▲3.3)	257 (▲18.7)	500 (▲31.4)	62 (▲73.0)	200 (▲50.3)
トヨタ紡織	9,482 (▲1.6)	18,700 (▲4.3)	338 (▲31.8)	680 (▲13.5)	135 (▲53.3)	430 (▲25.7)
豊田合成	5,159 (▲1.3)	10,500 (▲2.0)	289 (▲14.3)	530 (▲21.7)	182 (▲21.7)	370 (▲28.1)
愛知製鋼	1,450 (▲2.9)	3,000 (+1.2)	33 (▲30.2)	100 (▲3.6)	17 (▲48.3)	64 (▲2.9)

(注1) カッコ内は前年同期比増減率、単位は%。日産自動車以外は国際会計基準。

(注2) トヨタ自動車の主要グループ8社は日本経済新聞社の分類による。

(注3) (\*) 日産自動車の今期純利益見通し、豊田通商の今期売上収益見通しは未公表。

(注4) 純利益は、親会社の所有者に帰属する利益を記載。

(出所) 各社決算資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここもチェック! 2024年10月9日 世界株インデックスだけでは勿体ない「日本のグローバル株」という選択肢  
2023年2月15日 自動車業界の2022年度4-12月期決算

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。